

Outbound Security for Microsoft 365 サービス説明書

最新の約款・サービス説明書については、下記のURLに掲載しております。
<https://canon.jp/business/solution/it-sec/lineup/guardianwall/detail>

ver.1.3

Outbound Security for Microsoft 365		
機能	概要	
送信前確認機能 概要		
基本動作	<ul style="list-style-type: none"> Outlookアプリからメールの送信を行う時に「送信確認画面」を表示して、メールの内容に誤りが無いか目視確認のうえ、メールを送信 / 中止することが可能 誤送信の可能性がある宛先や制限値を超える添付ファイル数を検出した場合、また添付ファイルにOutlookアイテムの存在を検出した場合、警告メッセージを表示 動作制限値を超過した場合、「送信中止通知画面」を表示 	
対象のメール	・内部ドメインから外部・内部ドメイン宛の「送信メール」が対象	
送信確認画面	・警告 / 件名 / 宛先 / 添付ファイル / 本文 を確認可能	
添付ファイルダウンロードリンク化機能 概要		
基本動作	<ul style="list-style-type: none"> 送信メールの添付ファイルをメールから隔離し、ダウンロードサイトに保存してURLを送信 送信者は、リンク化しないで送信 / 添付ファイルの公開・非公開操作 / 添付ファイルのダウンロード履歴の確認 / 送信した添付ファイルの確認 が可能 	
対象のメール	・内部ドメインから外部・内部ドメイン宛の「送信メール」が対象	
添付ファイルの公開	公開アドレス	・ダウンロードサイト上での添付ファイルの公開対象者をアドレスごとに指定可能
	公開期間	<ul style="list-style-type: none"> 1日 / 5日 / 10日 から指定可能 ※対象メールの管理画面から1日単位での期間延長が可能
	保存期間	・30日
	ダウンロード回数制限	・制限なし
ダウンロードサイトへのログイン	<ul style="list-style-type: none"> 受信者は、ワンタイムパスワード(※) / ソーシャル認証 (Microsoft / Google) にてログイン可能 (※)ワンタイムパスワードの有効時間10分、桁数は6桁 	
ファイル一覧管理	・送信者は、自身が送信したファイルを一覧にて保存期間内で確認可能	
その他の機能 概要/注意事項		
動作制限値(※1)	宛先 (To, Cc, Bcc) の表示上限件数	・宛先 (To, Cc, Bcc) 毎に500件
	添付ファイルのトータルサイズ	・150MB
	添付ファイルの上限件数	・10件
	HTMLまたはリッチテキスト形式のメール本文に挿入されている画像の上限件数	・50件
宛先がメーリングリストの場合の制限	・メーリングリストに含まれるメールアドレスに対する個別の展開には対応不可	
メール転送の場合の制限	・ダウンロードリンク化されたメールを転送した場合、転送先の受信者に添付ファイルは公開されない	
メール再送信の場合の制限	<ul style="list-style-type: none"> ダウンロードリンク化されたメールの宛先を更新し再送信した場合、再送信先の受信者に添付ファイルは公開されない 以下メールは送信確認画面の表示不可 <ul style="list-style-type: none"> 会議出席依頼メール(※) タスク依頼メール IRMで保護されたアイテム Microsoft 365グループウィンドウ内で作成されたメッセージ (※)会議出席依頼メールは、以下の場合のみアドインが動作します。 <ul style="list-style-type: none"> 従来のOutlook for Windows : <ul style="list-style-type: none"> 開催者による作成・編集・キャンセル 出席者による「コメントを付けて返信する」からの承諾・仮承諾・辞退・転送 新しいOutlook for Windows : <ul style="list-style-type: none"> 開催者による詳細編集からの作成・編集・イベントの複製 出席者によるメールビューからの転送 Outlook for Mac : <ul style="list-style-type: none"> 開催者による作成・編集 出席者によるメールビューからの転送 Outlook on the Web : <ul style="list-style-type: none"> 開催者による詳細編集からの作成・編集・イベントの複製 出席者によるメールビューからの転送 	
送信確認画面の制限		
添付ファイルダウンロードリンク化の制限	<ul style="list-style-type: none"> 以下ファイルが添付されている場合は当該ファイルのダウンロードリンク化不可 <ul style="list-style-type: none"> OneDriveまたはSharePointのファイルへの共有リンク HTMLまたはリッチ テキスト形式のメール本文へ画像が挿入されている リッチテキスト形式のメールでは、以下の事象が発生する場合がある <ul style="list-style-type: none"> 添付ファイルが存在していると送信確認画面で表示される 複製メールの情報が一部欠けて表示される 	
メールサイズ制限	・メーラー仕様に基づいて	
アドイン(※2)	実行ログ	<ul style="list-style-type: none"> アドインの処理が実行不可になった際のエラーログを確認することで、トラブル発生時に調査を行うことが可能
	利用機能の設定	<ul style="list-style-type: none"> アドインの設定時に以下利用機能を選択可能 <ul style="list-style-type: none"> 送信前確認の実施有無 添付ファイルダウンロードリンク化の実施有無 添付ファイルの公開 / 非公開状態 ※添付ファイルダウンロードリンク化機能では、送信時に各設定値の選択が可能
	アドインURL配布方法	・申込時に選択された利用機能に応じたURLを案内

(※1) 制限値の変更はできません。

(※2) 全ユーザーへのアドインの反映には最大24時間を要することがございます。

ご利用機能を変更する場合、一度アドインを削除したうえで再登録する必要があります。キャッシュの関係で入替反映には約72時間かかる場合がございます。

Outbound Security for Microsoft 365 サービス提供仕様

Outbound Security for Microsoft 365		
項目	内容	
サービス稼働率		
サービス稼働率	・ 99.9%	
堅牢性		
インフラ設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害に備えた堅牢な設備と厳重なセキュリティ対策が施された国内にある高信頼データセンターで仮想化基盤を稼働 ※本サービスは、AWS上などで稼働しているため、可用性及び信頼性はAWSなどに準拠します ※AWSのデータセンターの物理的設備・装置については、AWSの公式ページをご確認ください (https://aws.amazon.com/jp/compliance/data-center/controls/) 	
監視	・ ハードウェア、サービスの稼働状況やサーバーリソースの監視を実施	
サービス管理		
冗長化	サーバー	・ サーバーは冗長化の構成にて対応
第三者認証		
第三者認証	<ul style="list-style-type: none"> ・ AWS : ISO/IEC 27001:2022, 27017:2015, 27018:2019, 27701:2019, 22301:2019, 20000-1:2018, 9001:2015, CSA STAR CcM v4.0, SOC1, SOC2, SOC3 ・ その他 : ISO/IEC 27001:2013, JIP-ISMS517-1.0 (ISO/IEC 27017:2015) 	
サポート		
ご購入後お問い合わせ	設定・機能利用方法のお問い合わせ	
	サポート対応時間	・ 平日9:00~17:00 (土曜・日曜・祝日、当社指定休業日を除く)
	お問い合わせ方法	・ 電子メール / Webフォーム
	障害発生時の通知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ Webにて公開 (https://security-support.canon-its.jp/?site_domain=gwc) ・ メールにて通知 ※サービス申込書「②利用責任者」に記載のメールアドレス宛に送付します
アップデートおよびメンテナンス情報	通知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 点検/保守等の計画的なメンテナンスは、2週間前にWebおよびメールにて通知 Web公開先 : https://security-support.canon-its.jp/?site_domain=gwc メールの通知先 : サービス申込書「②利用責任者」に記載のメールアドレス宛 ※緊急対応が必要な場合を除く
アドイン動作環境(※3)		
Microsoft 365	Exchange Online(※4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft 365サブスクリプションサービスの契約にExchange Onlineが含まれている必要があります
Outlookアプリ	従来のOutlook for Windows(※4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows 10、Windows 11 の場合 Microsoft 365 Apps ※Microsoftのライフサイクルポリシーに準拠したバージョン以外の環境は動作保証外です ※Microsoft 365 Apps for enterprise (旧称: Office 365 ProPlus) および Microsoft 365 Apps for business (旧称: Office 365 Business) がありますが、Microsoftのドキュメント表記と同様に、ここではMicrosoft 365 Appsとします
	新しいOutlook for Windows(※4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows 10、Windows 11
	Outlook for Mac(※4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ macOS 11 Big Sur、macOS 12 Monterey、macOS 13 Ventura の場合 Outlook for Mac ※従来のOutlook for Macは動作保証外です ※iOSおよびiPadOSは動作保証外です ※Microsoftのライフサイクルポリシーに準拠したバージョン以外の環境は動作保証外です
	Outlook on the web (旧称: OWA、Outlook Web App)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows の場合 Microsoft Edge Mozilla Firefox Google Chrome ・ macOS の場合 Safari ※上記以外のWebブラウザは動作保証外です ※モバイル版の表示の場合、アドインは動作しません

(※3)本サービスのOutlookアドインはOutlookアプリの拡張機能として提供しているため、動作環境のサポートはMicrosoftのライフサイクルポリシーに準拠します。

(※4)Outlook for WindowsおよびOutlook for Macの場合、アカウント設定でMicrosoft Exchangeアカウントと連携 (Microsoft 365サブスクリプションサービスに接続) する必要があります。

Exchange Onlineへの接続方式としてIMAP/POP3で接続している場合、Outlookアドインは動作しません。

Outbound Security for Microsoft 365 アドイン 注意事項一覧

No	影響度	対象のOutlook	概要	詳細	対処方法
アドイン導入時の注意事項					
1	高	従来のOutlook for Windows 新しいOutlook for Windows Outlook for Mac Outlook on the Web	Microsoft 365 管理センターからOutbound Security for Microsoft 365 アドインを登録・削除・入れ替える場合の注意事項	<p>【アドインの追加】</p> <p>全ユーザーへのアドインの表示には最大24時間を要することがあります。</p> <p>【アドインの削除】</p> <p>アドインの削除には最大72時間かかることがあります。</p> <p>【アドインの入れ替え】</p> <p>マニフェストファイルを登録後、別のマニフェストファイルに入れ替える場合には、1週間程度の時間がかかります。</p>	-
2	高	従来のOutlook for Windows 新しいOutlook for Windows Outlook for Mac Outlook on the Web	Outbound Security for Microsoft 365 アドイン制限値の変更	<p>制限値の変更はできません。</p> <p>※制限値につきましては、本資料下部の「Outbound Security for Microsoft 365 アドインの制限値」をご参照ください。</p>	-
3	高	従来のOutlook for Windows 新しいOutlook for Windows Outlook for Mac Outlook on the Web	Microsoft 365サブスクリプションサービスの契約に関する注意事項	<p>Microsoft 365サブスクリプションサービスの契約にExchange Onlineが含まれている必要があります。</p> <p>※Outlook for WindowsおよびOutlook for Macの場合、アカウント設定でMicrosoft Exchangeアカウントと連携 (Microsoft 365サブスクリプションサービスに接続) する必要があります。Exchange Onlineへの接続方式としてIMAP/POP3を使用している場合、Outlookアドインは動作しません。</p>	-
4	中	従来のOutlook for Windows 新しいOutlook for Windows Outlook for Mac Outlook on the Web	アップロードされた添付ファイルの確認	添付ファイル管理画面以外で、該当メールでの添付ファイルを確認する手段は現在のところございません。	送信者にて確認してください。
5	低	従来のOutlook for Windows 新しいOutlook for Windows Outlook for Mac Outlook on the Web	閉域クラウド接続サービスご使用時の注意事項	アドイン自体の導入に制限がある可能性がございます。	-
メール送信時の注意事項					
6	高	従来のOutlook for Windows 新しいOutlook for Windows Outlook for Mac Outlook on the Web	ダウンロードリンク化されたメールを送信した場合の注意事項	送信済みアイテムからダウンロードリンク化されたメールを送信した場合、転送先の受信者に添付ファイルは公開されません。	メールを送信して添付ファイルを公開するには、送信済みアイテムの複製メールを送信してください。
7	高	従来のOutlook for Windows 新しいOutlook for Windows Outlook for Mac Outlook on the Web	ダウンロードリンク化されたメールを再送信した場合の注意事項	<p>「再送信」をご利用時に、ダウンロードリンク化されたメールの宛先を更新し再送信した場合、再送信先の受信者に添付ファイルは公開されません。</p> <p>※元の宛先メールアドレスに対しては引き続き公開されます。</p>	「再送信」を利用して添付ファイルを公開するには、送信済みアイテムの複製メールを再送信してください。
8	中	従来のOutlook for Windows 新しいOutlook for Windows Outlook for Mac Outlook on the Web	送信遅延機能でメール遅延中に送信をキャンセルした場合の制限	送信遅延機能を有効にした状態で、送信を途中でキャンセルする場合、ダウンロードリンク化したメールが下書きに保存され、送信済みアイテムに複製メールが作成されます。また、本製品のサーバーにも情報が登録された状態となります。下書きに保存されたダウンロードリンク化されたメールを再送信しても、送信済みアイテムに入るそのメールで添付ファイル管理できません。	キャンセルしたメールを再度送信するには、送信済みアイテムの複製メールを再送信してください。
9	中	従来のOutlook for Windows Outlook for Mac	添付ファイル管理にて一部のリンクが機能しない場合の注意事項	<p>添付ファイル管理のメール一覧画面でメールを選択すると表示される詳細画面のリンクについて、リンク先のメールが、添付ファイル管理を開いているメールボックスとは別の共有メールボックスに保存されているメールの場合に、リンクがそれぞれクローズアップされリンクすることができません。</p> <p>・対象のリンク: </p>	メールが保存されている共有メールボックスから添付ファイル管理を開いてください。
10	低	従来のOutlook for Windows 新しいOutlook for Windows Outlook for Mac Outlook on the Web	差出人を変更してメールを送信する場合の注意事項	<p>差出人の変更はスプーフリング対策保護のためExchange Onlineで送信を許可されたメールアドレスのみ指定できます。</p> <p>差出人を変更して送信する場合は、Microsoft 365管理センターまたはExchange管理センターから該当のメールアドレスに対して「メールボックス所有者として送信するアクセス許可」または「代理人として送信するアクセス許可」を設定する必要があります。</p> <p>Outlookアドインは基本的にユーザー自身のメールボックスで動作するように設計されています。本アドインが展開されたユーザーでメールの差出人を変更した場合でも本アドインの機能を利用できます。本アドインの添付ファイルダウンロードリンク化機能では、実際にダウンロードリンク化したメールを送信したユーザーのメールボックスから「添付ファイル管理画面」の操作ができます。</p> <p>「共有メールボックス」の設定で「送信済みアイテムを管理する」の「このメールボックスとして送信されたアイテムをコピーする」と「このメールボックスの代理人として送信されたアイテムをコピーする」を有効にした場合、別のユーザーが差出人をその「共有メールボックス」に設定してメールを送信すると、送信されたメールがその「共有メールボックス」にコピーされます。ダウンロードリンク化したメールの場合、コピーされたメールから「添付ファイル管理画面」の操作はできません。また、複製メールは本アドインが送信者のメールボックスに対する操作で作成するものであるため、「共有メールボックス」には作成されません。</p>	-
11	低	Outlook for Windows	Outlook for Windowsご利用時にオフラインでメール送信した場合の注意事項	Outlook for Windowsご利用時において、オフラインで送信処理をした場合、ダウンロードリンク化や送信前チェックがからない場合がございます。	Outlook for Windowsご利用の際は、オンラインにてメールをお送りください。
12	低	新しいOutlook for Windows Outlook on the web	Outlook on the webの予定表からイベントを送信する場合の注意事項	<p>Outlook on the Web、新しいOutlook for Windowsご利用時において、予定表からイベントを作成・送信する場合、以下の簡易的なイベント編集画面ではアドインが動作しません。</p> 	
13	低	従来のOutlook for Windows 新しいOutlook for Windows Outlook on the Web	リッチテキスト形式メールご利用時の注意事項	<p>リッチテキスト形式のメールは、追加されたファイルの内容により以下の事象が発生することがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 添付ファイルが存在していると送信確認画面で表示される。 複製メールの情報が一部欠けて表示される。 	HTML形式または、テキスト形式でメールを作成ください。
14	低	従来のOutlook for Windows	Outlook起動後の最初のメール送信時の注意事項	Outlook(バージョン2402 (含む) 以前をご利用の場合、Microsoft社新APIの仕様によりOutlook起動後の最初のメール送信の度、Microsoft 365の認証ダイアログが表示されます。(半期エンタープライズチャネルご利用のお客様)	新しいOutlook for Windowsへの移行のご検討をお願いいたします。

Outbound Security for Microsoft 365 アドイン 制限事項一覧

No	影響度	対象	概要	詳細	対処方法
アドインの管理・運用に関する制限事項					
1	中	従来のOutlook for Windows 新しいOutlook for Windows Outlook for Mac Outlook on the Web	アドインを一括削除した場合の制限	アドインが削除された場合、送信者側の公開情報の更新、DL履歴の閲覧ができなくなります。 ※受信者では、DLサーバでのワнтаイム/パスワードの発行と、ファイルの実体の入手（公開状態であること）が可能	-
2	中	Outlook on the web	Google Chromeのシークレットモードを使用した場合の制限	Google Chromeのシークレットモードでは、DOMストレージへのアクセスに制限があるため、本アドインの実行ログを保存することはできません。	Google Chromeの通常モードをご利用ください。
アドインを利用したメール送信に関する制限事項（機能全般）					
3	高	従来のOutlook for Windows 新しいOutlook for Windows Outlook for Mac Outlook on the Web	一部のメール送信時に本サービスが実行されない	以下のメールは、本サービスの動作対象外であるため、送信前確認機能およびダウンロードリンク化機能は実行されません。 ・タスク依頼メールなど ※Exchangeから通知される配信レポートなどが該当 ・IRMで保護されたメール ・アーカイブメールボックス、パブリックフォルダー内で作成されたメール ・共有メールボックス、別ユーザーのメールボックス内で作成されたメール ・Microsoft 365グループウィンドウ内で作成されたメッセージ	Microsoft 365 グループを利用している場合、 [] をクリックして、ウィンドウを開いてからメールを送信することで、例外的に本サービスを実行することができます。
4	中	Outlook for Mac	新しいOutlook for Macご利用時に会議出席依頼メールで場所欄が未設定の場合に確認画面が2度表示される	新しいOutlook for Macご利用時に会議出席依頼メールの送信時に「場所」欄が何も指定していない場合に、アドインの実行前に確認画面が表示され、さらにアドイン実行後にもう一度確認画面が表示されます。	-
5	低	新しいOutlook for Windows Outlook on the web	Outlook on the web、新しいOutlook for Windowsにてピン留め機能ご利用時の制限	Outlook on the web、新しいOutlook for Windowsでピン留め機能を有効にしてメールを移動すると、戻るボタンが機能しなくなります。	アドインを閉じ、再度開きなおしてください。
6	低	従来のOutlook for Windows	従来のOutlook for Windowsにてピン留め機能ご利用時の制限	従来のOutlook for WindowsでEdgeHTMLベースで本アドインのピン留め機能を有効にしてメールを移動した場合、画面に表示されている内容が更新されません。	アドインを閉じ、再度開きなおしてください。
7	低	従来のOutlook for Windows 新しいOutlook for Windows Outlook for Mac Outlook on the Web	Outlookアプリで「場所」欄に会議室のみを指定した場合の仕様	Outlookアプリの会議出席依頼メールで「場所」欄に会議室のみを指定した場合は原則アドインの動作対象外となり、送信確認画面の表示、及び添付ファイルのダウンロードリンク化は行われません。	従来のOutlook for Windows、新しいOutlook for Windowsでは、会議開催者のドメインとは異なるドメインのメールアドレスを「場所」欄に指定した場合はアドインの動作対象となります。
8	低	Outlook for Mac	ファイルを複数添付した後削除すると一部が復活したように見える	新しいOutlook for Macにてファイルを複数添付した後ファイルを削除すると、削除したはずのファイルが再度表示されます。実際はメールを送信する際には、添付されているのは削除していないファイルのみとなっており、削除操作は実施できています。 Outlook for Mac: 16.74.2 (23062500)で確認した動作になります。	-
9	低	従来のOutlook for Windows 新しいOutlook for Windows Outlook for Mac Outlook on the Web	グループメールアドレスが認識されない	宛先にグループメールアドレスを指定した場合に、通常のメールアドレスとして表示されてしまいます。	-
10	低	従来のOutlook for Windows	メールの「リソース」欄にメールアドレスを設定できてしまう	メール作成時、「リソース」欄にメールアドレスを設定できてしまいます。 従来のOutlook for Windowsをご利用の場合は、設定されたメールアドレスが外部ドメインだった場合にアドインを実行します。	-
11	低	従来のOutlook for Windows	従来のOutlook for Windowsにて、宛先に「電子メールアドレスの種類: EX」が含まれているとメールを送信することができない	従来のOutlook for Windowsにて、宛先に「電子メールアドレスの種類: EX」が含まれていると、Outlookのアドレスの情報が取得できず、メールを送信することができません。	宛先欄に文字を直接入力してください。
アドインを利用したメール送信に関する制限事項（送信前確認機能）					
12	中	従来のOutlook for Windows Outlook on the Web	送信確認画面にメール本文の内容が表示されることがある	メールを作成し、OneDriveまたはsharepointの共有リンクを挿入した場合、メール本文には何も表示されていないが、「送信確認画面」に「○○さんとOneDrive for Businessのファイルをあなたと共有しています。そのファイルを見るには、下のリンクをクリックしてください。…」の文面が入ることがあります。 受信者には送信されないメッセージとなりますので、問題ございません。	-
13	中	Outlook on the web	Outlook on the web利用時にアドインが起動しない場合がある	Outlook on the Webご利用の場合で、回線状況などの環境要因によりアドインの読み込み時間が掛かってしまうことで、アドインが機能していない状態のメールを送信してしまうタイミングが存在します。	Exchange Onlineの設定を変更してください。
14	低	新しいOutlook for Windows Outlook for Mac Outlook on the web	送信確認画面での時間制限	送信確認画面でのチェック、及び添付操作を5分以内に実施いただく必要がございます。	制限時間以内に確認を完了させてください。
アドインを利用したメール送信に関する制限事項（添付ファイルダウンロードリンク化機能）					
15	高	Outlook on the web	Outlook on the webで添付ファイル付きメールを転送すると、送信確認画面で添付ファイル無しと表示され、ダウンロードリンク化されずに送信される場合がある	VPN接続等の通信速度が遅い環境下でOutlook on the webをご利用の場合、添付ファイル付きのメールに対して、転送操作したときに確認画面で添付ファイル無し扱いとなりますが、実際の送信時には添付ファイルがついた状態で送信される可能性がございます。	送信確認画面で添付ファイル無しと表示された場合、一度送信確認画面を閉じ、お時間を置いてから再度メール送信をお試しください。
16	高	従来のOutlook for Windows 新しいOutlook for Windows Outlook for Mac Outlook on the Web	宛先がメーリングリストの場合の制限	メーリングリストに含まれるアドレスに対する個別の展開には対応しておりません。 宛先がメーリングリストの場合、以下の動作/オペレーションが必要となります。 ・公開非公開はメーリングリストアドレスに対して行う ・メーリングリストアドレスでワнтаイム/パスワードの発行によるログインが必要になる ・ワнтаイム/パスワードはメーリングリストに含まれるすべての宛先に届くことになる	メーリングリストに登録されているメールアドレス宛に個別にお送りください。
17	中	従来のOutlook for Windows 新しいOutlook for Windows Outlook for Mac Outlook on the Web	一部メール・添付ファイルにおいてダウンロードリンク化ができない	※グループアドレスの受信設定で、【組織内の送信者】からの受信設定としている場合、ワнтаイム/パスワードを受信することができません。 以下の添付ファイルのダウンロードリンク化はできません。 ・OneDriveまたはSharePointのファイルへの共有リンク ・HTMLまたはリッチテキスト形式のメール本文画像が挿入されている	-
18	中	従来のOutlook for Windows 新しいOutlook for Windows Outlook for Mac Outlook on the Web	存在しないメールアドレスへ送信した場合の制限	※上記のファイルとリンク化できる通常のファイル(PPTやPDFなど)が同封されている場合、通常のファイルのみダウンロードリンク化されます	-
19	低	従来のOutlook for Windows	従来のOutlook for Windowsでブロックされるファイルを送信した場合の制限	従来のOutlook for Windowsの仕様で次の動作となります。 ①新規メールまたは下書きメールを開く ②Outlook for Windowsでブロックされるファイルを添付する ③下書き保存して閉じる ・その際に警告画面が出てくる ・警告を承諾して閉じる ④再度メールを選択する	・添付ファイルの送出を防止する場合は、別途Exchangeでトランスポートルールの設定が必要となります。 ・ブロックされるファイルを添付してメールを送信する場合は、圧縮ユーティリティを利用して圧縮されたアーカイブファイルを添付してください。
20	低	従来のOutlook for Windows 新しいOutlook for Windows Outlook for Mac Outlook on the Web	ファイルダウンロードをキャンセルした場合での、ダウンロード履歴のステータス表示の制限	ダウンロード記録は、ダウンロード完了時ではなく開始時に行いますので、キャンセルした場合もダウンロード済み状態の表示となります。	-
21	低	従来のOutlook for Windows 新しいOutlook for Windows Outlook for Mac Outlook on the Web	ダウンロードリンク化処理中にキャンセルを行ったメールの再送時の制限	メール送信時のOS365ダウンロードリンク化処理中にキャンセルを行った場合、該当メール再送時にエラーが発生いたします。	メールを新規作成し送信をお願いいたします。

Outbound Security for Microsoft 365 アドインの制限値

本アドインには以下の制限値が設定されています。

項目	制限値
送信確認画面におけるメール本文の表示文字数	字数制限はありません。 ※お使いの環境によっては、送信確認画面における本文の表示文字数が1000文字までに制限されることがあります。 ※改行も文字数として含みますが、HTMLタグは含みません
送信確認画面における宛先 (TO、CC、BCC) の表示件数	送信確認画面において、宛先 (TO、CC、BCC) 毎に500件までの表示制限があります。 ※Exchange Onlineの規定値は500件です。500件以上の宛先を許可している場合、送信確認画面での表示はできませんが、メールは送信されます。
添付ファイルの上限件数	10件
HTMLまたはリッチテキスト形式のメール本文に挿入されている画像の上限件数	50件
添付ファイルのトータルサイズ	150MB ※メールボックスのメッセージのサイズが上限です。その上限を超えている場合の動作は保証対象外です。 ダウンロードリンク化した添付ファイルは弊社サーバー上に保存されます。
添付ファイルの保存期間	添付ファイルの保存期間は、30日間となります。 ※30日間経過後、弊社サーバー上にアップロードされた添付ファイルは削除されます。
アドイン実行ログの保存期間	WebブラウザのDOMストレージに保存されます。 DOMストレージの保存期間は、Webブラウザの仕様に依ります。ユーザーは保存期間を指定することはできません。 ※本アドインでは、21日間または100個までを上限としてログを保持する設定となっておりますが、DOMストレージの仕様変更の影響を受ける可能性があります。